

第 6 回

関東実業団剣道大会

主 催 関 東 実 業 団 剣 道 連 盟
後 援 朝 日 新 聞 社
全 日 本 実 業 団 剣 道 連 盟
全 日 本 剣 道 連 盟

と き 昭 和 39 年 7 月 5 日

と こ ろ 東 京 ・ 日 大 講 堂

挨拶

関東実業団剣道連盟

会長 安田 幾久男

本日ここに第六回関東実業団剣道大会を開催するにあたり、関係各位の多数ご参列をいただき、かくも盛大に行なうことができましたことは、誠に欣ばしくご同慶の至りに存じます。

昭和三十四年第一回大会が四十四団体参加の

もとに挙行されて以来、回

を重ねるごと

に参加団体の

増加をみ、年

々興隆の一途

を辿っており

ますことは、

参加団体各位のたゆまざる研鑽努力と関係各位のご熱意の賜ものと厚く御礼申しあげます。

かくの如く剣道が広く人々に愛好され、着々と基盤を拡充し、とりわけわが国経済発展を担う実業界に滲透してまいりましたことはまことに心強いものがございます。

いままさら申しあげるまでもなく剣道は心、技、体、一致の武道として、わが国のながい歴史と伝統に培かれた民族的な遺産でありまして、今日におきましても数あるスポーツのうち人格

の淘汰と形成にとってこれに優るものがないと確信致します。

またそれだけに技を磨くことは心身両面での

研鑽を一つ一つ積み重ねてゆくことが肝要であり、これによって始めて剣道の基本精神とも申

すべき明鏡止水の心境をきり開くことができるものと信じます。

私どもは皆様方がたえずこのような剣道の真

髓の修得に心掛けられるよう希望いたしますと

ともに、日本人の民族性に根ざす剣道がより多

くの人々になじまれ、人づくりに多大な貢献を

なしうるものと確信すると共にこれを私どもの

責務と感ずる次第でございます。

本大会は、剣道の精髓を示す場であり、皆様

方が常日頃剣の道にいそしみ培ってこられました

心と技とをあますところなく発揮され、本大会が盛会裡に終了することを期待して止みません。

最後に本大会開催に際しまして格別のご配慮

ご後援をいただきました

朝日新聞社、全日本剣道連盟、ならびに全日

本実業団剣道連盟に対しまして感謝の意を表し

ご挨拶いたします。

大会次第

◇開会式……………九・〇〇～九・四〇

1 役員整列・選手入場行進

2 開式の辞

3 国旗掲揚・国歌斉唱

4 優勝旗・返還

5 レプリカの贈呈

6 大会々長挨拶

7 来賓の祝辞

8 審判長の注意

9 選手代表の宣誓

10 役員・選手着席

11 日本剣道形

12 選手退場

◇団体試合……………九・四〇～一七・〇〇

1 一回戦から四回戦迄(6試合会場)

2 五回戦(4試合会場)

3 準決勝(2試合会場)

4 決勝戦(1試合会場)

※右の試合中適宜な時に居合および特別試合を行なう予定

◇閉会式……………一七・〇〇～一七・三〇

1 役員選手整列

2 成績発表

3 表彰

4 大会副会長挨拶

5 国旗に敬礼

6 閉会の辞

7 退場

大会役員

【順不同・略敬称】

名誉顧問

日本武道館会長 正力 松太郎
全日本剣道連盟会長 木村 篤太郎
全日本学生剣道連盟会長 笹森 順造
朝日新聞社代表取締役 広岡 知男
三菱養和会理事長 武藤 秀三
阪急百貨店株式会社社長 野田 孝夫
名古屋鉄道株式会社社長 土川 元夫
住友化学工業株式会社社長 大谷 一雄
東洋レーヨン株式会社相談役 辛島 浅彦
雪印乳業株式会社社長 佐藤 貢
南海放送株式会社社長 山中 義貞

名誉会長

全日本実業団剣道連盟会長 矢野 一郎
第一生命保険相互会社 会長

大会会長

関東実業団剣道連盟 会長 安田 幾久男
日本軽金属株式会社 社長

大会副会長

日本鉱業株式会社 専務取締役 河合 堯晴
株式会社三井銀行 常務取締役 児玉 幸蔵

大会顧問

【出場公社関係】五十音順

朝日生命保険相互会社 会長 藤川 博
朝日生命保険相互会社 社長 春山 定
旭硝子株式会社 社長 森本 貫一
安宅産業株式会社 社長 猪崎 久太郎
石川島播磨重工業(株) 社長 土光 敏夫
川崎製鉄株式会社 社長 西山 彌太郎
鹿島建設株式会社 社長 鹿島 卯女
菊水テープ製造株式会社 社長 西沢 袈裟人
株式会社講談社 社長 野間 省一
株式会社シモン 社長 利岡 和人
清水建設株式会社 社長 清水 康雄
昭和電工株式会社 社長 安西 正夫
住友海上火災保険(株) 社長 溝口 周次
株式会社杉田製線工業 社長 杉田 与次郎
積水化学工業株式会社 社長 上野 次郎男
ゼネラル物産株式会社 社長 中尾 幸雄
森下仁丹株式会社 社長 森下 泰
大成建設株式会社 社長 本間 嘉平
大成建設株式会社 取締役 鈴木 孝太郎
第一生命相険相互会社 社長 矢田 恒久
高崎製紙株式会社 社長 黒崎 義平
株式会社第一銀行 頭取 井上 薫
第一証券株式会社 社長 小川 三郎
千代田化工建設株式会社 社長 玉置 明善
千代田化工建設株式会社 常務 塚本 素基
塚本総業株式会社 社長 塚本 素基
株式会社電通 社長 日比野 恒次

東洋レーヨン株式会社 会長 田代 茂樹
東洋レーヨン株式会社 社長 森 広三郎
株式会社東横 社長 五島 昇
戸田建設株式会社 専務 石丸 正名
東京芝浦電気株式会社 社長 岩下 文雄
東京芝浦電気株式会社 社長 菅 要助
東京急行電鉄株式会社 社長 五島 昇
東京瓦斯株式会社 社長 本田 弘敏
東部通信工業株式会社 社長 古関 幸平
東京電力株式会社 社長 木川田 一隆
東洋高圧工業株式会社 社長 野村 末一
凸版印刷株式会社 社長 山田 三郎太
凸版印刷株式会社 取締役 幾島 英二
東京日野モーター株式会社 社長 高見 嘉夫
日本通運株式会社 社長 福島 敏行
日本電業株式会社 社長 三間 安市
日本電気株式会社 社長 渡辺 斌衛
日本火災海上保険株式会社 社長 右近 保太郎
日本 銀行 総裁 山際 正道
日本加工製紙株式会社 社長 安 得三
日本郵船株式会社 社長 児玉 忠康
日産自動車株式会社 社長 川 又克二
日興証券株式会社 社長 港 守篤
日新製糖株式会社 社長 森 永為貴
日本揮発油株式会社 社長 実 吉雅郎
野田醤油株式会社 社長 茂木 啓三郎
野村証券株式会社 社長 瀬川 美能留
株式会社日立製作所 社長 駒井 健一郎
日立電線株式会社 社長 松浦 孝義

日野自動車工業株式会社	社長	松方正信
株式會社富士銀行	頭取	岩佐實
富士重工株式會社	社長	横田信夫
古河電気工業株式會社	社長	植松清
株式會社平和相互銀行	社長	小宮山英藏
本州製紙株式會社	社長	木下三郎
保土ヶ谷化学工業株式會社	社長	吉田満珠雄
株式會社三井銀行	社長	柳多羅尾
三井精機株式會社	社長	高柳昭次郎
三井精機株式會社	社長	高柳昭次郎
三井金屬鋁業株式會社	社長	高柳昭次郎
株式會社三井銀行	頭取	宇佐美清彦
三井商事株式會社	社長	渡辺武次郎
三井地所株式會社	社長	渡辺武次郎
三井化成工業株式會社	社長	佐藤止弋夫
三菱製鋼株式會社	社長	李家孝
三菱重工株式會社	社長	井深三造
株式會社明電舎	社長	桑原重雄
モロゾフ酒造株式會社	社長	桑原重雄
八欧電機株式會社	社長	八尾敬次郎
安田火災海上保險株式會社	社長	三好武夫
安田生命保險相互會社	社長	竹村吉衛門
(株)山本海苔店	社長	山本恵造
山一証券株式會社	社長	山本恵造
横濱護謨製造株式會社	社長	山本恵造
レナウン商事株式會社	社長	山本恵造
ローヤルハム株式會社	社長	岡田睦夫

朝日新聞社取締役	益田豊彦
朝日新聞東京本社企画部長	衣奈多喜男
朝日新聞東京本社運動部長	高橋富城
朝日新聞東京本社運動部長	植竹春彦
全日本剣道連盟副会長	赤城宗徳
全日本剣道連盟副会長	岡本昌智
関西学校剣道連盟会長	和崎嘉之
関西学校剣道連盟会長	松本敏夫
全日本学校剣道連盟理事長	井上正孝
日本武道館事務局長	三浦英夫
剣道範士十段	持田盛二
剣道範士十段	齊藤五郎
全日本剣道連盟常任理事	斎藤寛
全日本剣道連盟常任理事	佐藤寛
全日本剣道連盟常任理事	小野沢知雄
全日本剣道連盟常任理事	森田茂
全日本剣道連盟常任理事	小川定胆
全日本剣道連盟常任理事	庄川宗光
全日本剣道連盟常任理事	伊藤京逸
全日本剣道連盟常任理事	庄子宗光
全日本剣道連盟常任理事	天野武則
全日本剣道連盟常任理事	阿部武則
東京都剣道連盟常務理事	渡辺敏雄

大会顧問 【後援・来賓関係】

MEMO

昭和三十九年度に
行ないます

全日本実業団
剣道大会は

オリピック終了後
新装成れる
“日本武道館”にて
開催いたします

主催 全日本実業団剣道連盟
後援 朝日新聞社
全日本剣道連盟

大会参与

(関係役員及び
出場社剣道部長) 【順不同】

心臓血管研究所	谷 徹	株式會社第一銀行	下川 渡一	日本揮発油株式會社	南 壽
グアサヒニース	伊藤 象三	千代田化工建設(株)	野正豊稔	野田醤油株式會社	吉池 繁
朝日新聞東京本社	小池 信行	塚本総業株式會社	加藤 文一	野村証券株式會社	山 新一
朝日新聞東京本社	渡辺 礼輔	株式會社電通	石黒 律郎	株式會社日立製作	厚母 淳太郎
朝日生命保險相互會社	山本 欽次	東京芝浦電気株式會社	押原 一郎	日立製作所多賀工場	岐部 淳治
朝日生命保險相互會社	岡本 正之助	東京電気タービン工場	萩野 秀雄	日立製作所日立工場	佐々木 祐治
旭硝子株式會社	白井 正	東京電力株式會社	小山田 亥三	日立製作所国分工場	高田 正久
旭硝子株式會社	白井 正	東京電力株式會社	小山田 亥三	日立製作所国分工場	高田 正久
味の素株式會社	浅川 正光	東京電力株式會社	小山田 亥三	日立製作所国分工場	高田 正久
安宅産業株式會社	山岸 康八	東京電力株式會社	小山田 亥三	日立製作所国分工場	高田 正久
石川島播磨重工業(株)	佐藤 義藏	東京電力株式會社	小山田 亥三	日立製作所国分工場	高田 正久
(株)STジョンソン商會	伊藤 勘三郎	東京電力株式會社	小山田 亥三	日立製作所国分工場	高田 正久
川崎製鉄(株)千葉製鉄所	石田 茂夫	東京電力株式會社	小山田 亥三	日立製作所国分工場	高田 正久
鹿島建設株式會社	小林 三郎	東京電力株式會社	小山田 亥三	日立製作所国分工場	高田 正久
菊水タープ販売株式會社	大井 良知	東京電力株式會社	小山田 亥三	日立製作所国分工場	高田 正久
株式會社講談社	西沢 利雄	東京電力株式會社	小山田 亥三	日立製作所国分工場	高田 正久
株式會社シモン	山田 敬一	東京電力株式會社	小山田 亥三	日立製作所国分工場	高田 正久
清水建設株式會社	山崎 滋造	東京電力株式會社	小山田 亥三	日立製作所国分工場	高田 正久
住友海上火災保險(株)	高崎 益男	東京電力株式會社	小山田 亥三	日立製作所国分工場	高田 正久
株式會社杉田製線工場	沢井 岩吉	東京電力株式會社	小山田 亥三	日立製作所国分工場	高田 正久
積水化学工業株式會社	内田 洋	東京電力株式會社	小山田 亥三	日立製作所国分工場	高田 正久
ゼネラル物産株式會社	佐々木 芳久	東京電力株式會社	小山田 亥三	日立製作所国分工場	高田 正久
高崎製紙株式會社	中山 秀雄	東京電力株式會社	小山田 亥三	日立製作所国分工場	高田 正久
第一生命保險相互會社	村瀬 楠太郎	東京電力株式會社	小山田 亥三	日立製作所国分工場	高田 正久
第一証券株式會社	三浦 一男	東京電力株式會社	小山田 亥三	日立製作所国分工場	高田 正久

82チームの横顔

監督	五段	本間	代午郎	43
大將	五段	羽賀	新	40
副將	四段	大貫	信雄	35
中堅	五段	渡部	尚見	38
次鋒	四段	宍戸	久治郎	38
先鋒	四段	山崎	光家	36
補欠	二段	池村	正昭	19

5旭
硝子(鶴見)

13	富	士	銀行
監督	五鍊	高橋	次男 45
大將	五鍊	諸橋	留次 46
副將	三段	山田	勝 20
中堅	三段	森下	一彌 24
次鋒	三段	川口	美智郎 24
先鋒	三段	須藤	善満 19
補欠	五鍊	佐藤	良吉 52

補欠	先鋒	次鋒	中堅	副將	大將	監督	9 第
三段	三段	二段	初段	初段	二段	三段	一
茂木	興津	篠塚	白崎	藤沢	中野	鯨井	銀行
伸		勝	観	一		優	
平	甫	雄	治	義	正	直	
20	19	20	20	20	22	38	

審判員	審判	審判	審判
阿部 信	本間 七郎	佐藤 嘉章	小澤 正
安藤 孝之	長谷川 平二	鶴田 海	岸田 文
大谷 村	中野 八	玉利 岩	森田 直
大平 谷	大平 十	佐藤 章	千頭 留
大久保	大久保	佐藤 章	白土 卯
大久保	大久保	佐藤 章	佐藤 卯
大久保	大久保	佐藤 章	小齊 盛
大久保	大久保	佐藤 章	持田 五
大久保	大久保	佐藤 章	顧問 紀
大久保	大久保	佐藤 章	高野 道
大久保	大久保	佐藤 章	小寺 耕
大久保	大久保	佐藤 章	原野 篤
大久保	大久保	佐藤 章	近藤 剛
大久保	大久保	佐藤 章	永田 正
大久保	大久保	佐藤 章	深田 孝
大久保	大久保	佐藤 章	小柴 邦
大久保	大久保	佐藤 章	川口 夫

横望森村三松丸逸桧林針長長中中高高滝棚須鈴鈴佐片河川小岡小萩緒大
久
山月島上沢尾山見山 金崎島村村玉橋沢谷郷木木間桐島原倉田沢野方島
永正健貞 延義和 庸 末太伊 永光昌 智 三昌 大 幸秀惟宏
三 三 太
十房男次正夫一夫 勲夫稔吉郎郎司光三美智一温郎七蔚郎忠獎雄雄敏郎

第1回	優勝	東横百貨店	2位	朝日生命	3位	古河鋳業と平和相互 (昭和34年6月7日……於中央道場)
第2回	優勝	東横百貨店	2位	シモン皮革	3位	日本通運と日立製作 (昭和35年7月3日……於中央道場)
第3回	優勝	東横百貨店	2位	日通本社	3位	日本鋳業と朝日生命研修所 (昭和36年7月2日……於日大講堂)
第4回	優勝	朝日生命研修所	2位	東横	3位	シモン皮革と平和相互銀行 (昭和37年6月17日……於日大講堂)
第5回	優勝	株式会社シモン	2位	朝日生命研修所	3位	日立電線と講談社 (昭和38年6月30日……於日大講堂)

39 高崎製紙 監督 七教 中山 秀雄 47 大將 五段 北條 勝 進 49 副將 三段 高野 太吉 25 中堅 三段 鈴木 精二 20 次鋒 三段 高橋 功 20 先鋒 四段 関口 実 16 補欠 初段	34 東芝(鶴見) 監督 四段 杉本 豊吉 51 大將 四段 小笠原 信行 41 副將 二段 青柳 章 24 中堅 二段 山田 芳雄 21 次鋒 二段 春山 政秋 20 先鋒 二段 高島 良二 21 補欠 三段 渡辺 堯 22	29 三菱地所 監督 五段 河野 吉通 35 大將 五段 河田 美喜男 37 副將 四段 小浜 竹三 36 中堅 三段 正岡 秀夫 20 次鋒 二段 山崎 三男 21 先鋒 二段 小泉 浩三 20 補欠 四段 小林 芳之助 43	24 川崎製鉄(千葉) 監督 五段 角田 徹 39 大將 五段 野住 一正 42 副將 五段 沢 公雄 36 中堅 五段 山部 良一 44 次鋒 三段 森 強 20 先鋒 四段 奥野 真司 25 補欠 四段 津田 昌一 42	14 三井銀行 監督 六段 守田 由太郎 49 大將 六段 守田 由太郎 49 副將 三段 須藤 顕 21 中堅 四段 市成 義治 35 次鋒 三段 成瀬 秀夫 23 先鋒 三段 羽角 孝郎 20 補欠 三段 中島 衛 20	15 平和相互銀行(本社) 監督 五段 持田 国雄 大將 三段 高梨 勝彦 18 副將 三段 蔭山 盛久 25 中堅 四段 戸田 一 23 次鋒 三段 広田 宏二 23 先鋒 三段 上村 明生 23 補欠 三段 杉本 公夫 20	20 東洋高圧 監督 六教 西村 震一 41 大將 六教 堀 道男 39 副將 五段 松実 義明 37 中堅 五段 古賀 善記 37 次鋒 五段 中川 弘 35 先鋒 三段 腰川 日出男 21 補欠 五段 小山 孝志 34	21 住友海上火災 監督 四段 植村 正広 41 大將 七段 岡田 英敏 39 副將 四段 室本 健治 24 中堅 三段 佐藤 宗典 34 次鋒 四段 近藤 正輝 23 先鋒 三段 村田 竹司郎 23 補欠 五段 上田 義比古 28	16 三菱銀行 監督 七段 佐川 博男 47 大將 三段 上田 忠利 26 副將 二段 岡田 務 23 中堅 三段 本橋 政治郎 18 次鋒 三段 横瀬 満洋 19 先鋒 二段 青島 幸一 20 補欠 二段 村上 正則 22	22 東京瓦斯 監督 五段 宮崎 重安 51 大將 三段 木根淵 眞夫 35 副將 三段 島田 米康 42 中堅 四段 高野 政之助 38 次鋒 二段 角田 忠一 36 先鋒 二段 山形 彰良 19 補欠 二段 牛腸 泰雄 26	17 東芝商事 監督 五段 野本 寿 44 大將 五段 工藤 能巳 42 副將 四段 塚野 国男 42 中堅 五段 大越 三男 44 次鋒 四段 青木 昌生 35 先鋒 三段 八木 栄 20 補欠 三段 小畑 実 21	23 山一証券 監督 三段 河波 紀彦 47 大將 五段 林 勇治 26 副將 四段 佐伯 博之 31 中堅 四段 西川 仙治 41 次鋒 三段 島田 睦 28 先鋒 三段 松井 由克 21 補欠 四段 松尾 浅雄 40	18 ロイヤルハム 監督 四段 岡田 睦夫 27 大將 四段 高橋 毅 34 副將 四段 岡田 睦夫 27 中堅 四段 富樫 欽也 23 次鋒 四段 木村 豊太郎 30 先鋒 三段 小林 秀実 23 補欠 三段 佐々木 清明 23	30 東京電力(群馬) 監督 五段 小川 由久 40 大將 七段 小坂 博 47 副將 五段 須藤 孝雄 20 中堅 三段 倉賀野 富雄 22 次鋒 三段 菊池 武夫 20 補欠 三段 岡本 武嘉 21	31 日立製作所(国分) 監督 五段 神山 猛 35 大將 五段 沢海 明弘 24 副將 三段 高木 芳雄 19 中堅 三段 鎌田 堅蔵 20 次鋒 四段 沼田 好二 23 先鋒 四段 広沢 孝 21 補欠 三段 牧野 勝夫 22	32 明電舎 監督 六教 竹田 洋治郎 41 大將 四段 佐藤 昭仁 32 副將 五段 笹根 静雄 35 中堅 三段 山根 重稔 26 次鋒 二段 眞鍋 誠治 23 先鋒 初段 須藤 貢明 25 補欠 初段 曾根 光生 24	33 第一生命 監督 七教 三浦 泰治 56 大將 五段 二方 久雄 41 副將 五段 中島 宏居 26 中堅 四段 村勢 楠太郎 40 次鋒 三段 有馬 八郎 33 先鋒 四段 山口 裕二 26 補欠 二段 菅野 信次 27	35 日産自動車 監督 二段 松沢 健二 46 大將 五段 佐々木 久司 40 副將 四段 望月 錦一 43 中堅 五段 上丸 春光 48 次鋒 二段 亀割 雄二 21 先鋒 四段 小松 典司 41 補欠 二段 牧野 義男 43	36 安田火災海上保険 監督 六教 岩田 長 51 大將 六教 石崎 巖 50 副將 五教 植草 恒雄 51 中堅 七教 柴田 隆 40 次鋒 三段 谷 信宏 22 先鋒 二段 人見 克之 22 補欠 三段 田崎 正 44	37 塚本総業 監督 六段 伊賀 豊一 65 大將 六段 伊賀 豊一 65 副將 四段 中野 恒男 50 中堅 二段 高畑 尚志 37 次鋒 二段 千葉 勝蔵 36 先鋒 初段 井上 忠男 28 補欠 四段 飯伏 義盛 56	38 日野自動車 監督 三段 岩田 義人 52 大將 六教 土淵 英夫 47 副將 五段 関口 誠 39 中堅 四段 平岡 佑介 29 次鋒 三段 源平 照雄 21 先鋒 二段 大竹 秀雄 20 補欠 四段 木藤 秀雄 50	40 三井金属鉱業 監督 七段 海保 治郎 54 大將 七段 海保 治郎 54 副將 六段 川島 一六 46 中堅 七段 股木 幸良 38 次鋒 六段 小田切 克己 50 先鋒 五段 肝付 芳千代 40 補欠 五段 大阪 栄一 46	41 東京急行電鉄 監督 四段 橋本 恵 38 大將 三段 岡島 政義 19 副將 三段 天笠 岩根 19 中堅 三段 倉持 秀夫 19 次鋒 三段 久保 薰志 19 先鋒 三段 小池 士郎 19 補欠 三段 本郷 軍一 19	42 日本軽金属 監督 七教 大坪 信治 62 大將 五教 瓜島 智道 45 副將 五段 飯島 隆一 38 中堅 五段 飯島 照人 44 次鋒 五段 仁多見 一彦 44 先鋒 四段 和田 紘正 24 補欠 四段 増子 達吉 38	43 日立電線 監督 七教 羽賀 幸雄 61 大將 五段 羽賀 紀正 22 副將 四段 山本 光司 20 中堅 四段 山崎 末美 23 次鋒 三段 宮川 茂 18 先鋒 三段 安齊 利恵 18 補欠 四段 福田 信行 22
--	---	--	--	--	--	---	--	--	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	--	--	---	--	---

69日 立製作所(日立) 監督 五教 風間 十二 42 大將 五教 沼田 嘉雄 39 副將 四段 森 恒 治 23 中堅 四段 関根 恒 治 23 次鋒 三段 阿部 富 八 24 先鋒 三段 弓削 繁 20 補欠 三段 石田 次雄 18	64ゼネラル物産 監督 五段 堀 隆 男 30 大將 五段 堀 隆 男 30 副將 五段 楠田 兼 也 27 中堅 四段 寺田 祥 二 26 次鋒 四段 佐々木 豊 二 郎 25 先鋒 四段 丹羽 正 敏 26 補欠 四段 高宮 義 隆 26	59日 新製糖 監督 七教 稲村 孝之助 40 大將 六段 亀井 一 雄 33 副將 六段 福田 操 38 中堅 五段 西村 雄 幸 35 次鋒 三段 八木 勇 吉 32 先鋒 三段 中野 和 夫 23 補欠 三段 原 敏 夫 34	60第一証券 監督 六教 齊藤 和 夫 42 大將 六教 齊藤 和 夫 42 副將 五段 笹生 達 浩 27 中堅 五段 宮川 洋 一 26 次鋒 五段 安達 裕 一 24 先鋒 五段 小川 五十雄 24 補欠 二段 矢島 利 夫 19	61三菱商事 監督 五段 愛沢 福司郎 37 大將 四段 上野 晏 嗣 27 副將 四段 中田 欽 也 26 中堅 三段 安江 治 人 26 次鋒 二段 大西 吉 德 22 先鋒 二段 笹岡 治 男 22 補欠 二段 大島 一 晃 22	62千代田化工(本社) 監督 七教 室井 正 基 55 大將 七教 野正 豊 稔 37 副將 五段 福島 正 昭 25 中堅 三段 大森 英 彦 25 次鋒 四段 松田 光 明 23 先鋒 四段 平崎 武 21 補欠 五段 加藤 幸 濡 43	63八電電機 監督 四段 新沼 節 雄 43 大將 五段 藪野 府 英 23 副將 四段 木村 喬 25 中堅 三段 鎌田 益 幸 28 次鋒 三段 佐藤 登 19 先鋒 二段 小野 一 雄 18 補欠 初段 椎名 馨 27	66日本加工製紙(王子) 監督 三段 西山 克 一 41 大將 三段 松縄 保 男 36 副將 四段 大島 正 浩 24 中堅 三段 羽磯 尚 史 29 次鋒 三段 野島 徹 太 郎 23 先鋒 三段 田辺 稔 35 補欠 二段 伊藤 善 吾 21	67三菱化成 監督 七教 桜庭 庄 市 42 大將 五段 橋本 文 行 26 副將 四段 齊藤 親 広 23 中堅 五段 柄本 繁 35 次鋒 四段 熊本 誠 治 21 先鋒 二段 小谷津 欣 望 20 補欠 二段 山田 芳 睦 23	68東京電力(本社) 監督 六教 宮本 健 次 42 大將 六教 高山 善 美 40 副將 六教 鈴木 猛 雄 39 中堅 四段 新谷 亮 介 23 次鋒 四段 秀島 公 夫 21 先鋒 五段 鶴野 誠 吾 20 補欠 三段 秋山 誠 吾 20	70日本通運(関東航空) 監督 五段 山田 松 華 42 大將 五段 飯塚 誠 25 副將 五段 井手 高 吉 24 中堅 五段 奥村 金 八 郎 26 次鋒 四段 北野 良 夫 27 先鋒 四段 鈴木 国 功 21 補欠 四段 楽満 省 二 24	71本州製紙 監督 二段 松山 富士男 47 大將 四段 大里 隆 德 37 副將 四段 猪狩 精 一 26 中堅 四段 佐々木 正 23 次鋒 二段 池田 坦 21 先鋒 二段 鈴木 晃 23 補欠 二段 鈴木 登 42	72富士重工業 監督 六教 藤橋 芳 雄 47 大將 六教 藤橋 芳 雄 47 副將 六教 清水 三 四 七 41 中堅 六教 吉岡 勝 利 40 次鋒 五段 椎名 村 司 41 先鋒 五段 川上 和 泉 41 補欠 三段 峯村 功 一 28	73朝日新聞社 監督 六教 渡辺 礼 輔 49 大將 五段 山下 勇 34 副將 四段 小栗 敬 太 郎 22 中堅 四段 中野 義 次 正 23 次鋒 三段 鈴木 治 夫 24 先鋒 四段 杉井 貞 夫 23 補欠 四段 渡辺 茂 次 43
--	---	--	--	--	---	--	--	---	--	--	---	---	---

44シモン(本社) 監督 五教 藤井 達 雄 35 大將 六教 照井 寅 雄 38 副將 五段 富田 紀 作 23 中堅 五段 田口 安 夫 24 次鋒 五段 馬場 茂 雄 23 先鋒 五段 洋谷 日出 男 23 補欠 五段 酒井 洪 43	45積水化学工業 監督 五段 内田 洋 43 大將 四段 中島 晶 一 郎 24 副將 三段 清水 優 25 中堅 三段 平岡 幸 夫 23 次鋒 三段 丹野 仁 28 先鋒 初段 小西 功 一 22 補欠 初段 須長 欣 二 25	46日興証券 監督 六教 伊得 季 吉 59 大將 五段 戸谷 好 夫 26 副將 五段 森本 征 昭 27 中堅 五段 森林 和 貴 23 次鋒 三段 笹矢 章 成 24 先鋒 四段 高橋 博 42 補欠 四段 高橋 博 42	47東横 監督 六教 山口 彰 一 38 大將 五段 鶴野 寿 夫 26 副將 五段 大沼 三 喜 25 中堅 四段 関谷 恒 治 23 次鋒 三段 石井 武 治 19 先鋒 三段 佐藤 裕 吾 23 補欠 三段 高梨 則 夫 22	48東京芝浦電気(本社) 監督 七段 奈良 貞 一郎 大將 五段 野田 求 24 副將 四段 藤巻 繁 24 中堅 四段 大久保 育 男 25 次鋒 四段 森田 二 千 夫 24 先鋒 四段 鈴木 寧 彦 23 補欠 三段 浅賀 定 雄 24	49菊水テープ(東京) 監督 六教 西沢 利 雄 52 大將 五教 神田 正 明 25 副將 五段 佐野 好 男 23 中堅 四段 稲生 則 弘 23 次鋒 四段 長山 国 照 22 先鋒 二段 島田 武 司 19 補欠 六教 西沢 利 雄 52	50横浜ゴム 監督 七教 田島 次 男 40 大將 六教 長谷川 俊 雄 44 副將 五段 黒木 善 律 24 中堅 三段 岩見 幸 夫 24 次鋒 四段 反町 利 政 42 先鋒 三段 岩辺 公 孝 21 補欠 三段 吉田 豊 祐 26	51平和相互銀行(果鴨) 監督 七教 福山 清 隆 44 大將 五段 浅野 裕 26 副將 四段 大古 誠 一 23 中堅 五段 山崎 辰 男 24 次鋒 五段 川瀬 能 男 23 先鋒 四段 川上 一 夫 21 補欠 四段 佐々木 公 大 24	52野村証券 監督 五段 西浦 克 己 36 大將 二段 長谷川 肇 志 20 副將 三段 鈴木 三 成 19 中堅 二段 相田 文 男 20 次鋒 三段 江沢 正 勝 20 先鋒 三段 矢野 勝 20 補欠 二段 中本 敏 幸 18	53東京芝浦電気(本社) 監督 六教 押原 一 郎 大將 五段 伊藤 隆 幸 副將 五段 大塚 君 彦 24 中堅 三段 小沼 正 広 22 次鋒 三段 里吉 実 25 先鋒 三段 石川 勤 23 補欠 三段 鈴木 忠 洋 20	54日立製作所(本社) 監督 六教 厚母 太 郎 42 大將 六教 厚母 太 郎 42 副將 六教 佐藤 伊 哉 39 中堅 四段 渡辺 正 25 次鋒 五段 西村 肇 生 29 先鋒 四段 小川 栄 男 27 補欠 三段 橋本 良 春 20	55大成建設 監督 五段 今吉 清 一 38 大將 五教 五反田 栄 一 41 副將 六教 塚田 正 博 38 中堅 五段 渡辺 瑞 正 24 次鋒 五段 坂本 博 之 24 先鋒 五段 伝法 公 敏 27 補欠 初段 小川 洋 20	56電通 監督 五教 安池 忠 夫 51 大將 五教 片桐 保 之 40 副將 五教 石黒 律 郎 39 中堅 四段 高田 茂 行 23 次鋒 三段 吉水 伸 一 24 先鋒 三段 赤松 英 一 24	57東部通信工業 監督 七教 今井 照 雄 49 大將 五教 古関 実 31 副將 五段 橋本 貞 治 24 中堅 四段 小泉 吉 且 25 次鋒 二段 飯塚 昭 三 33 先鋒 四段 沢間 淳 23 補欠 四段 新井 忠 男 42	58凸版印刷 監督 五段 門脇 十 一郎 42 大將 五段 今井 康 中 25 副將 三段 杉本 実 24 中堅 五段 齊藤 光 弘 26 次鋒 二段 星野 昇 20 先鋒 三段 鈴木 崇 介 22 補欠 四段 田口 剛 生 26
--	--	--	--	---	---	---	---	---	--	---	---	---	--	---

時計はセイコー

主要製品名

掛時計・目覚時計・置時計
写真機用シャッター

株式会社 服部時計店工場

精工舎

東京都墨田区太平町四丁目二番地

電話 東京 (623) 代表 8111



松勘堂

ご一報次第カタログ贈呈

取締役社長 松本 彌一
東京都渋谷区本町五丁目四一番地
振替口座 東京 八九六八一
取引銀行 第一銀行新宿西口支店
第一信託銀行笹塚支店
電話 (三三) 三三三番 (三三) 二二二番

優美にして堅牢きつとお気に召す

株式会社 剣道具



松勘

MATSUKAN

松勘工業株式会社

50年

の伝統と信用を誇る
剣道具界の王座

取締役社長 松本 寛
本社 埼玉県加須市礼羽一八八番地
(電話カソ) 三三三 (営業所) 三三三 (工場)
取引銀行 埼玉銀行加須支店
東京都台東区浅草馬道一ノ七
電話 (七) 四一七六・四一七六・七九八六
小売店 電話 (四) 二四二六

迅速な製作・修理は

堅実なおやぢの店

一式製造販売

具衣袴

道道衣

剣柔剣

田村剣道具店

店主 田村金三郎

東京都品川区大崎中丸四四二番地

電話大崎 (441) 5443・9365 (国電目黒駅下車)

各大学
各警察署
警視庁
御指定

74 野田醤油	監督 六段 荒木英次郎 48 大将 四段 実 繁 26 副将 三段 遠藤正春 25 中堅 三段 齊藤達夫 23 次鋒 三段 中島慎一 22 先鋒 三段 安田昭次郎 23 補欠 五段 三木一雄 43
75 日本鉱業	監督 六段 馬淵芳朗 40 大将 六段 田崎達雄 37 副将 五段 水戸部浩 27 中堅 五段 本多国雄 39 次鋒 三段 木村耕一 24 先鋒 五段 大久保長寿 35 補欠 五段 本田利夫 40
76 日本揮発油	監督 三段 今園国建 38 大将 三段 今園国建 38 副将 三段 中山尚治 38 中堅 四段 西村七海雄 23 次鋒 二段 清水弘興 24 先鋒 四段 久能晃 24 補欠 二段 橋本信之 23
77 鹿島建設	監督 六段 村上鉄二 39 大将 五段 小椋紀久二 23 副将 四段 早川康彦 25 中堅 五段 恩田四郎 24 次鋒 三段 花村幸作 20 先鋒 四段 島田稔 21 補欠 三段 吉柳尚徳 22
78 日本火災海上保険	監督 七段 笛木信一 49 大将 七段 吉田忠幸 49 副将 五段 馬場久男 43 中堅 五段 早野慎三 35 次鋒 四段 井上勉 24 先鋒 三段 水島三郎 21 補欠 四段 塚原良次 22
79 朝日生命(新宿)	監督 七段 森山亮信 48 大将 七段 森山亮信 48 副将 七段 大井幸枝 40 中堅 六段 友部美智子 43 次鋒 四段 加藤仁孝 24 先鋒 四段 伴野忠男 25 補欠 三段 清治満 22
80 三菱重工	監督 四段 岸田千之 53 大将 七段 渡辺正一 51 副将 七段 荒井充 40 中堅 六段 中村史郎 39 次鋒 三段 石井良夫 40 先鋒 四段 谷沢淳 39 補欠 二段 永沢進 21
81 東洋レーヨン(本店)	監督 四段 中川太郎 39 大将 五段 磯村彰 28 副将 二段 小松喬 39 中堅 三段 吉田武司 21 次鋒 二段 町田和夫 22 先鋒 三段 薩美登喜男 20 補欠 初段 倉持威 19
82 モロゾフ山梨工場	監督 四段 岩井艶雄 22 大将 四段 太田実 22 副将 四段 泉山鉄悦 22 中堅 四段 市村征四郎 22 次鋒 二段 隈元和也 18 先鋒 二段 牧野耕三 18 補欠 二段 森田勇 18
83 東芝電気タービン	監督 七段 山本一 47 大将 四段 大久保明 20 副将 三段 佐原勇次郎 21 中堅 三段 石井栄一 22 次鋒 二段 羽染正敏 19 先鋒 三段 杉本勇 20 補欠 二段 岡本堅一 21
84 石川島播磨重工	監督 四段 榎本敏彦 50 大将 五段 飛田仁一 40 副将 三段 高橋騏一郎 24 中堅 三段 石井正男 20 次鋒 三段 藤原隆則 23 先鋒 二段 小田武彦 19 補欠 四段 佐藤義藏 40
85 安田生命(研修所)	監督 四段 佐藤勤 46 大将 三段 黒瀬禎三 24 副将 四段 小沢詮充 26 中堅 四段 石塚繁夫 23 次鋒 五段 石山巖 23 先鋒 五段 寺本仁彦 23 補欠 二段 平田米造 23
86 日本郵船	監督 三段 三原莊衛 40 大将 六段 宮田幸男 42 副将 二段 古庄来鶴 40 中堅 初段 竹内宗助 33 次鋒 二段 松村慶一 36 先鋒 二段 小川昭人 38 補欠 二段 小倉謙吉 32
87 講談社	監督 六段 岩崎清七 48 大将 七段 太田清良 51 副将 六段 清水伊勢 45 中堅 三段 杉山楼三 25 次鋒 四段 斎藤伸二 25 先鋒 三段 飯島利和 21 補欠 五段 吉田暉義 41

※ 以上87チーム
試合組合せの順に掲載してあ
ります。

※ 以上87チーム
試合組合せの順に掲載してあ
ります。

第6回 関東実業団剣道大会

トーナメント戦組合表

【第一試合場】	朝日生命(研修所)	1
	清水建設	2
	安田生命(本社)	3
	モロゾフ(本社)	4
	旭ガラス	5
	日本通運(本社)	6
	シモン(板橋)	7
	安宅産業	8
	第一銀行	9
	レナウン商事	10
	千代田化工建設(川崎)	11
	日本電気(玉川)	12
	富士銀行	13
	三井銀行	14
	平和相互銀行(本社)	15
【第二試合場】	三菱銀行	16
	東芝商事	17
	ローヤルハム	18
	日立製作所(多賀)	19
	東洋高圧	20
	住友海上火災	21
	東京瓦斯	22
	山一証券	23
	川崎製鉄(千葉)	24
	日本銀行	25
	古河電工	26
	朝日生命(本社)	27
	東洋レーヨン(三島)	28
	三菱地所	29
	東京電力(群馬)	30
	日立製作所(国分)	31
【第三試合場】	明電舎	32
	第一生命	33
	芝電気(鶴見)	34
	東芝自動車	35
	日産自動車	36
	安田火災	37
	塚本総業	38
	日野自動車	39
	高崎製紙	40
	三井金属	41
	井金急行	42
	東京軽電	43

優勝の

決

栄光は?

勝

【第四試合場】	シモン(本社)	44
	積水化学	45
	日興証券	46
	東京(日野)	47
	東水タープ	48
	菊浜ゴム	49
	横濱ゴム	50
	平和相互銀行(巣鴨)	51
	野村証券	52
	東芝電気(本社)	53
	日立製作所(本社)	54
	大成建設	55
	電通	56
	東部通信工業	57
	凸版印刷	58
【第五試合場】	日新製糖	59
	第一証券	60
	三菱商事	61
	千代田化工建設(本社)	62
	八欧電気	63
	ゼネラル物産	64
	三井精機	65
	日本加工製紙	66
	三菱化成	67
	東京電力(本社)	68
	日立製作所(日立)	69
	日本通運(関東航空)	70
	本州製紙	71
	富士重工	72
	朝日新聞社	73
	野田醤油	74
【第六試合場】	日本鉱業	75
	日本揮発油	76
	鹿島建設	77
	日本火災海上	78
	朝日生命(新宿)	79
	三菱重工	80
	東洋レーヨン(本社)	81
	モロゾフ(山梨)	82
	東芝タービン	83
	石川島播磨重工	84
	安田生命(研修所)	85
	日本郵船	86
	講談社	87



▶週刊	
週刊朝日	木曜発売・50円
朝日ジャーナル	月曜発売・50円
アサヒグラフ	木曜発売・80円
▶月刊	
アサヒカメラ	20日発売・220円
文藝朝日	10日発売・120円
科学朝日	5日発売・150円
朝日新聞縮刷版	15日発売・800円

スポーツの前後に……仁丹5・6粒



さわやかな刺激と、生薬10数種のききめが、ぐったりした気分をしゃんとさせます。

ゴールドケース付仁丹……100円
円盤ケース付仁丹……50円



森下仁丹株式会社 社長 森下 泰



のびゆく… みなさまの 第一生命

- 第一生命は、明治35年9月に創立者矢野恒太の主唱によって、わが国最初の相互組織の会社として設立されました。社名の「第一」という名は「最初の」という意味であります。
- その後今日まで60年、「社員」であるご契約者みなさまの利益を第一として、「量より質」「確実 低廉 親切」を標語として経営してまいりました。
- さいわい、みなさまのご理解とご支援をいただき、業績は発展の一途をたどっております。
- 昭和36年度も、きわめて好調な業績をあげ、本年度は、剰余金のうちから70億2,646万円を配当準備金に繰入れました。
- その結果、本年度の正味掛金はさらにお安くなりました。

より良い製品は 最新のプロセスから…



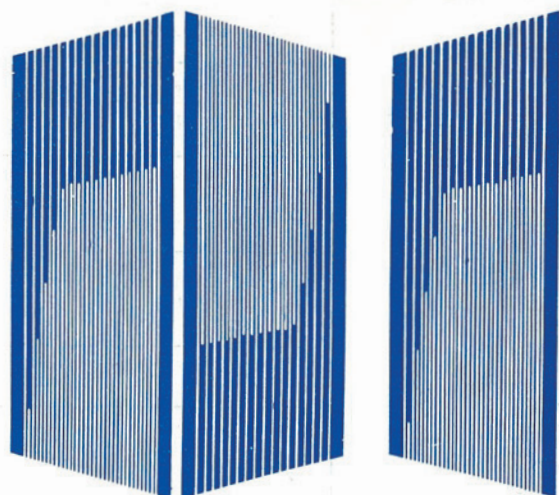
これが新しい化学工業の
スローガンです。
千代田化工建設は、この新しい時代の要望に応じて、化学工業装置の企業相談から、設計・製作・建設にいたるまで、最新の技術をもって一貫してお引受けいたします。

千代田化工建設

本社 東京・丸の内 TEL(582)4111 (代表)
工場 川崎・鶴見

● 強くて、軽い……

アルミニウム



アルミニウムのすぐれた特性は、わたくしたちの夢をつぎつぎとかなえてくれます。強くて、軽いアルミニウム合金は、建築、車両、船舶、電気器具などにどしどし進出しています。

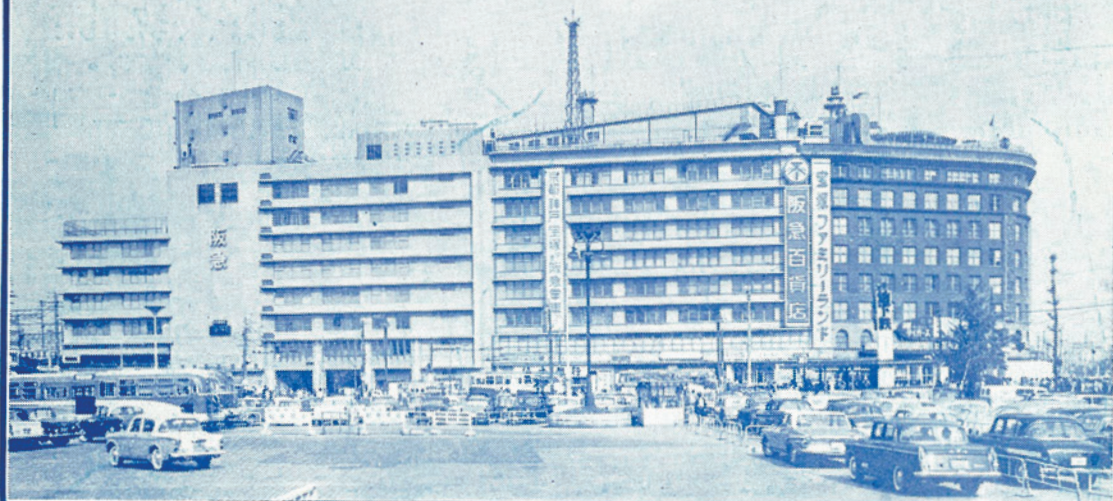


日本軽金属

本社 東京都中央区銀座西 7-2 / 電話 東京 (572) 大代表 1211
工場 清水・蒲原・新潟

明るい阪急 楽しい阪急

楽しさ ひろがる お買物



阪急

大阪梅田・阪急百貨店
神戸三宮・阪急神戸支店
東京・阪急大井町
東京・数寄屋橋阪急
アメリカ・ロスアンゼルス阪急